

CONTENTS

	ページ
巻頭言：時代の波（生命科学 宮川洋三）	1
雑誌の動き	2
科学研究費報告書データベースについて	2
本学紀要等のキーワード検索について	3
特別利用（カードによる入退館）時の 冷暖房について	3
ビデオ監視システムの更新について	3
特別利用の延長をお忘れなく	3
私費コピー機の更新について	3
新着図書案内	4
編集後記	

「時代の波」

生命科学 宮川洋三

世紀の変わり目を挟んで、情報伝達技術が長足の進歩を遂げたこの10年は私の学生時代とはまさに隔世の感ありといえよう。わが医大生をみても、学友のノートのコピーは当然のことながら、フロッピーあり、E-メールあり、携帯電話にi-モード---、もう列記することさえもどかしいほど。昨今は、いま自分が話をしている相手の眼はおろか顔すら見ず（知らず？）にひたすら自分の手のひら大の小っぼけなマシンに向かって猛烈なる速さで指で語りかける“親指族”なる新人類まで現れた。何人も抗しきれない「時代の波」というものであろう。

その「波」のおかげで、大学図書館の役割も変わりつつある。オンラインジャーナル等の登場により、新着学術雑誌の到着前に Abstract のみならず、本文に図表、写真まで各居室で手にすることができる時代に入った。かつて私の学生時代、自分の研究分野に関わる新着雑誌のページを胸をときめかせながら開くという、図書館に足を運ぶ度に味わったあの思いは、にわかには出現したパワフルなマシン群に吹き飛ばされそうである。

3月度の教官会議で図書館長の佐藤章夫教授が話されたことだが、大学施設を地域に開放する取り組みの一環として一般への図書の貸し出しサービスを始めたものの、その前提となる「館外貸出登録者」が2月28日現在でわずか11名。利用者に意見を求めると、「専門書は沢山あっても自分たちが読みたい本が少ない」というコメントが返ってきたこと。折角の試みも未だ開花せず、といったところか。私たち教官は毎年、図書館からの要請で「学生用一般教育図書推薦リスト」を提出しているが、私は限られた予算枠の中に、「シリーズもので個人単位ではちょっと手の届かない専門的なもの」と「医学・生物学関連の一般向けの図書」の両方を織り込むように努めてきた。「登録者」となられた方々の期待されている書籍の多くはおそらく後者の部類であろう。

私が次回の調査で是非これに加えたいと考えているものに、レイチェル・カーソン遺稿集「失われた森」（リンダ・リア編、集英社）がある。カーソンといえば『沈黙の春』であるが、わが国ではまだ「公害問題」が本格化する前の1960年代の前半、化学物質による環境汚染を本格的に告発して、『沈黙の春』は今日の地球環境問題の先駆けといえる歴史的な一書となった。執筆開始後間もなく病魔に犯されはじめたカーソン女史は56歳で世を去るまで、これを含めて生涯で4冊の本しか遺さなかったが、どれも「歴史を動かした力作」と評されている。それらの根底にあるのは、永遠に繰り返される自然の営みの神

秘性への深い思いであり、アルベルト・シュヴァイツァーの「生命への畏敬の念」を受け継ぐものといえよう。そして、こうした女史の深い「思い」を支えているものが、少女時代から備えていた自然に対する鋭い観察眼なのだという事を、本遺稿集は鮮明に描き出している。

女史が世を去って三十余年、かつての「公害問題」はいまや「地球環境問題」としてまさしく人類全体の文明論的課題となった。これも「時代の波」というものか。この間、大学図書館というものに目を向けるならば、「最新情報は図書館で」という時代から、「古い、歴史の検証を経て生き残ったものにじっくりと触れられる世界」、それが大学図書館の重要な役割の一つとされる時代へと大きく移りつつある---、そんな風にも思える。少々、パラドキシカルではあるのだが---

雑誌の動き

誌名変更

Otology & neurotology (Formerly: American journal of otology)	v.22 (2001) -	図書館
Trends in immunology (Formerly: Immunology today)	v.22 (2001) -	図書館

科学研究費報告書データベースについて

この度、図書館で所蔵している本学教官科学研究費報告書のデータベースを作成し、ホームページにリンクしました。このデータベースは報告書に記載されている課題番号や代表者氏名などをまとめた簡易なもので、それらを検索項目として検索することができます。ただしキーワードのヨミで検索することはできません。ご感想等ありましたら情報管理係までお寄せ下さい。

またこのデータベースはイントラに接続している端末からのみご利用になれます。

本学紀要等のキーワード検索について

ホームページを通じて全文情報を公開している、本学紀要、山梨肺癌研究会会誌等の掲載論文を、キーワードで検索出来るようになりました。

「山梨医科大学刊行の雑誌一覧」の画面から「キーワード検索」の画面に入って、キーワード（の組み合わせ）を指定することにより、論文を検索することが出来ます。

論題、著者名、抄録等に表示されている、どんな言葉からでも論文を検索する事が出来るので、同一著者や同一テーマの論文を探すのが便利になりました。

また、雑誌略称（[kiyou],[haigan]等）をキーワードに指定することにより、掲載誌を特定することも出来るようになっていきます。

特別利用（カードによる入退館）時の冷暖房について

図書館では、利用者の健康を配慮して、2階の第2閲覧室と第3閲覧室に空調装置と連動したタイマーを設置しました。これにより、夜中や早朝に利用しても暖房が使えるようになりました。タイマー（1時間）が切れますと停止しますが、再度入れますと連続して使うことができます。

また、照明スイッチも省エネのために、自動点灯にしたり、点消灯しやすい位置にスイッチを設置しましたので、誰もいない時はこまめに消灯するようにして下さい。

ビデオ監視システムの更新について

図書館では、従来からあったビデオ監視システムを更新しました。昨年12月から学外者への貸出を始めた事や、今年9月からの新1年生の特別利用の開始に合わせ、トラブル等の防止を目的に設置しました。白黒からカラーになりましたので、鮮明な録画ができるようになりました。

特別利用の延長をお忘れなく

現在、2年生以上の学生に許可をしている特別利用ですが、平成12年度の許可は3月31日までです。4月以降も利用したい場合は、4月13日まで延長申請を受付けています。お忘れなく。

なお、新規申請及び新2年生（現1年生）は5月に講習会を行う予定です。

私費コピー機の更新について

昨年度増設されたコピー機が新機種に更新されました。それに伴いコピーカードもセキュリティの高いもの（新カード）になりました。もう1台の方は3月まで旧カードが使えますが、4月からは新カードのみ利用できます。旧カードの新カードへの変更は、丸善売店で行っています。



編集後記

啓蟄を過ぎたら人間も動き出さなければ...と思ったのも束の間、
「春眠暁を覚えず」どころか、昼間も眠くなる今日この頃。
これではいけない!と一年発起、語学のテキストやら買ったまま
になっていた本を机の上に。



しかし、これら書籍も自分と同じくなかなか動き出さない。
図書館の本は、受け入れたかと思うともう誰かが読んでいるというのに。
自分の図書も図書館の図書も、大切に、でもボロボロになるくらい利用できればいいな、
と思う春の日でした。 (T. I.)

編集 / 発行 山梨医科大学附属図書館

<TEL> 直通 273-9353 情報管理係 内2108

図書課長 内2106 情報サービス係 内2109

総務係 内2107 カウンター 内2110

<URL> <http://www.yamanashi-med.ac.jp/~tosho/home.html>